

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード	122	施策	市民参画・協働の推進
管理事業	広聴事業	1	枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 法律相談事業	市民総務室	毎週火曜日と金曜日の13:00～16:30に、弁護士が日常生活に起因する諸問題についての法律上の相談を受けている。 時間:1人30分以内、定員:1日当たり21人又は14人	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 9,186	☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	1日の定員を超える申込みも多くあり市民のニーズは高いものと考え。暮らしの中の様々な問題解決のため、弁護士からのアドバイスは大いに参考となるところであり、法律相談を利用したいと考える市民ニーズが減少するとは考えにくい。今後とも利用率の向上を図るためできる限りの周知を図っていきたい。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 登記・測量相談事業	市民総務室	毎月第1月曜日に司法書士が、第3月曜日に司法書士と土地家屋調査士が、土地や家屋の登記、分筆、測量等に関する諸問題について、専門家の立場から相談を受けている。時間:14:30～16:30で1人30分以内、定員:1日当たり第1月曜日8人、第3月曜日各4人	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 167	☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	市民の身近なところに相談窓口があることによって、気軽に相談することができ、悩みごとの早期解決の一助になっており、市民ニーズは依然高いものと考え。高齢化が進み相続事案に係る相談は今後も増えると考えられるため、利用率向上の取組を行いながら、事業を継続する必要がある。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 多重債務相談事業	市民総務室	毎月第2木曜日は司法書士、第4木曜日は弁護士が、多重債務等借金問題について、相談を受けている。時間:13:00～16:00で1人30分以内、定員:1日当たり6人	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 465	☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	相談件数が前年比50%以上増加する等、今後も多重債務に関する相談が増えることが想定される中では、事業の実施意義が薄れることはなく、市民に近いところに相談窓口があるということは、有効なことである。市報やホームページ、チラシ等を通じて、多重債務を抱える市民へのより一層の周知が必要である。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 市民の声・相談案内事業	市民総務室	市政についての要望、意見、問合せ、苦情等を文書、電話、電子メール、窓口等で受付け、その内容を「市民の声処理カード」等で所管所属に回付する。所管所属は文書等で申出人へ回答するとともに、必要に応じて「市民の声」を施策や事業に反映している。また、平成29年度からは、行政経験豊富な再任用職員等による来庁者への総合案内(コンシェルジュ)を行っている。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 29	☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	市民からの相談内容も多種多様化している中で、担当職員は相談内容を整理し、行政として対応できない部分については、専門相談を案内することで早期解決の一助となっていると考える。 平成29年度から、行政経験豊富な再任用職員等による総合案内(コンシェルジュ)を実施し、市民目線で親切、丁寧、的確な対応を行うことで、多くの来庁者から「ありがとう。」などの感謝の言葉をいただくなど好感を得ており、事業を継続する必要があるものと考え。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 庁舎案内事業	市民総務室	市庁舎正面玄関と西玄関において、来庁者へ目的窓口等の庁舎案内を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 4,447	☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	市庁舎内正面玄関受付カウンター、西玄関受付カウンターにおいて、来庁者の目的に応じ、的確かつ迅速な庁舎案内に努めている。また、カウンターで来庁者から伺った市民の声を、市民総務室内や関係所属へ情報共有を行い市民サービスの向上に努めている。	継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 市民意識調査事業	市民総務室	市民の意見を幅広く聴取することで、今後の施策、市政運営の基礎資料とするため、4年に1度、市民意識調査を実施する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度 (千円) 1,767	☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	吹田市民の市政やまちづくりに関する意見や要望等を把握することで、今後の施策、市政運営の基礎資料とするため、より有効な調査となるよう、質問項目や質問数については、本事業の趣旨に沿った調査とする必要がある。	継続

上記以外の予算事業 ※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課
一般事務事業	市民総務室		
行政相談事業	市民総務室		